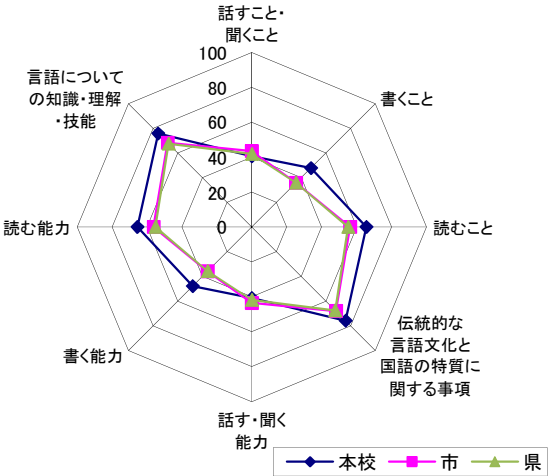


宇都宮市立海道小学校 第4学年【国語】分類・区分別正答率

★本年度の県、市と本校の状況

分類	区分	本年度		
		本校	市	県
領域等	話すこと・聞くこと	40.6	43.5	41.8
	書くこと	47.9	35.9	35.8
	読むこと	65.6	56.3	55.2
	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	75.9	68.2	67.5
観点	話す・聞く能力	40.6	43.5	41.8
	書く能力	47.9	35.9	35.8
	読む能力	65.6	56.3	55.2
	言語についての知識・理解・技能	75.9	68.2	67.5



★指導の工夫と改善

○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの

分類・区分	本年度の状況	今後の指導の重点
話すこと・聞くこと	平均正答率は、県と比べて1.2ポイント低い。 ○司会者の話合いの進め方に関する問題はよくできている。学級活動で行った計画委員としての経験や他教科で行ったグループで司会を立てた話合い活動の成果であると考えられる。 ●発言内容を正しく聞き取ることに課題が見られる。	・今後もグループでの話合い活動を授業に取り入れ、司会進行の仕方や話し方・聞き方を育てていく。また、学級活動での計画委員を輪番制にしてすべての児童に体験させ、話合いの進め方を身に付けさせる。 ・意見を発表する際の話し方を示した内容を掲示し、授業の中で実践させることで話し方・聞き方を育てる。 ・話を正しく聞き取らせるための方策として、授業中のハンドサインの実施や朝の会で行う「1分間スピーチ」への質問を徹底して行う。
書くこと	平均正答率は、県と比べて12.1ポイント高い。 ○招待状をふさわしい言葉遣いで書く問題や条件を満たして書く問題がよくできている。教科書に載っている手紙を参考にして、実際に招待状を書かせた成果と考えられる。	・交通指導員さんや学習支援ボランティアさん等、お世話になった方々にお礼や感謝の手紙を書くなど、これまでの指導を継続して書く力を育成していく。
読むこと	平均正答率は、県と比べて10.4ポイント高い。 ○読み物教材で要点をまとめたり、自分が読んだ本の要点をまとめてリーフレットを作ったりしたことの成果と考えられる。	・物語や説明文を最後までしっかりと読んでから問題に取り組ませる習慣を、授業はもとよりワークテストや学習プリントで身に付けさせる。
伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	正答率は、県と比べて8.4ポイント高い。 ○漢字の読み書きの問題がよくできている。漢字テストを行ったり、ドリルを使って、ていねいに「とめ」や「はらい」の指導を行ったりしたことの成果と考えられる。 ●ローマ字の問題や国語辞典の使い方の問題、「」の使い方の問題について課題が見られる。	・漢字の学習は、これまでの指導を継続する。 ・社会科や理科、総合的な学習の時間で行う調べ学習で、パソコンを使うことによりローマ字の習熟を図る。 ・授業の中で「」の使い方について指導する。 ・国語辞典を身近に置き、授業で分からない言葉が出たとき、すぐに使わせることで辞典の使い方を身に付けさせる。